

「音快速」に採用されているカルム材は、最高の吸音率と耐久性を持ち、室内における音質を悪くする反射音をなくす。加工・設置が簡単で、環境に優しくリサイクル可能なアルミニウムとしても知られている



KTOBUKI

音快速

(おんかいそく)

ルームチューニングパネル ¥60,000(1枚・税別)

Specification ●材質:表層材/カルム材(3mm)/高密度グラスウール(25mm)/アルミ反射材(約4mm)の4層構造(背面はMDF材)
●サイズ:500W×500D×35Hmm ●質量:3kg

「音快速(おんかいそく)」は名古屋に拠点を置く音響・防音設計の専門メーカーであるKOTOBUKIが開発した、画期的な音響処理能力を備えたルームチューニングパネル。この秋に東京で開催された「音展」のダイヤソウルのブースでご覧になった読者もいると思うが、ダイヤのパターンが特徴的で、僅か35mmの薄さとコンパクトさでありながら、これまで不可能とされてきた低音域をターゲットに、125Hzから500Hzをピークとして、その上はなだらかに吸音。理想のリスニング空間を実現する。その効果の高さから、早くも本年度の「オーディオアクセサリ-銘機賞2016」で見事に受賞を果たした。

「音快速」の開発経緯

本業と趣味を足すことで生まれたオーディオルームを手掛ける事業
まずは代表である庭瀬寿洋さんに「音快速」の開発までのエピソードを伺おう。庭瀬さんはドラムをたたき、趣味のオーディオでは爆音を好む熱烈なユーザーだ。本業は建設業で、主にリフォームが専門だが、リーマンショックで父の会社を継いだところからスタートがはじまった。

庭瀬さんは、本業の「建築」と趣味の「オーディオ」を足すと何ができるのか? 「オーディオルームができる!」と決意し、まっしぐらにつき進む。だが防音室やオーディオルームはゼロからの出発だ。

ここで活きるのが3つのポイントである。建設業では各種の素材を学び、ドラムの経験から音のエネルギーを知っている。オーディオではJBLの4350(38cmのダブルウーファー)で低周波と格闘してきた。体で覚えた経験をベースに、本格的に防音・音響の事業を立ち上げたという。

楽器や聴く音楽ジャンルに合わせて最高のコンディションに仕上げる

いずれにしても一枚300gと非常に軽量のため、手持ち歩きながら、低音のエッジが出る場所を探せば、そこが最も効果が出るポイントである。

楽器の芯とエッジが際立ち空間が二気に広がっていく

試せば一聴瞭然だ。左右一次反射面に1枚ずつを設置したが、明らかに淀みやモヤつき、低音のかぶりが消え、ベースの芯と輪郭がキリつとする。ピアノのボディやエッジが出れば空間はパアーンと出るから効果は絶大。ウォークルなど中高音域のあばれも整理され、すっきり爽やかとなる。

また、音の重心をさらに下げたければ、ダイヤ2個を下側セットすることも推奨している。実際に



株式会社KOTOBUKIの代表取締役、庭瀬寿洋さん。「音快速」はダイヤの向きで、思い通りのチューニングも可能

「音快速」の効果も体験できる! ショールームもオープン



〒464-0801 愛知県名古屋市中千種区星ヶ丘2-70
第2ロジクス天野屋1階
TEL: 052-721-9994
●定休日: 日曜日 ●営業時間: 10:00-19:00

「音快速」の素材構成は上から表層材/カルム材/グラスウール/アルミ反射材の4層構造で、背面はMDFとなる。グラスウールは通常の4倍という超高密度なもので、相性が良く、特有の艶やかな音質効果を狙っている。

新素材「カルム材」を活かす 4層構造の音響パネルが完成

以後、オーディオルームや演奏部屋、ライブハウスの設計などで、次々に実績を挙げていく庭瀬さんであるが、それと同時にチューニングパネルの開発にも着手しはじ

めている。

オーディオルームの音を悪くする最大の要因は低音処理だ。一般のルームチューニング材は中々高音しか吸わないため、響きが失われ、イヤな低域の圧力だけが残ってしまう。低周波に対し劇的に聴く部材はないものか……?

偶然たどりついたのが新幹線の防音壁にも使われている「カルム材」であった。同素材はアルミ粉末を焼結させた板であり、わずか3mm厚だが、何かの空気層と組み合わせれば、うまく低周波に対抗できるのではないかと考えた結果、「音快速」が誕生したので。

「音快速」の素材構成は上から表層材/カルム材/グラスウール/アルミ反射材の4層構造で、背面はMDFとなる。グラスウールは通常の4倍という超高密度なもので、相性が良く、特有の艶やかな音質効果を狙っている。

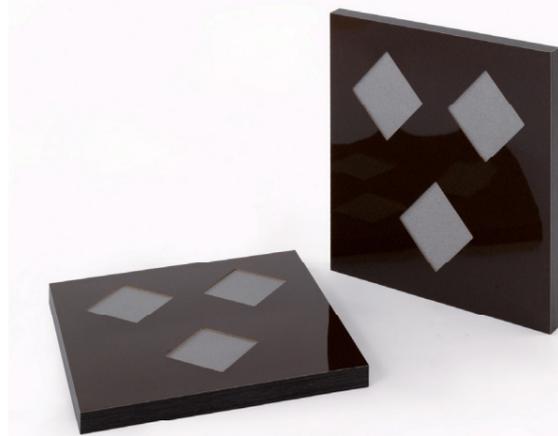
「音快速」の効果体験
開口部とカルム材の隙間から面で広がるように低域を吸う

一方でこの「音快速」にはダイヤ型の3つのパターンあり、その開口部から見えるのがカルム材だ。一見すると、カルム材はダイヤの部分にしか使われていないように見えるが、実はパネル全面に使われている。そうでないと十分な効果は発揮できないのだという。このダイヤの開口部から低周波が入ると、表層材との隙間から四方八方に広がっていく仕組みである。

「面」で広がるから35mmの薄さでも、効果的に低音を吸ってくれるわけだ

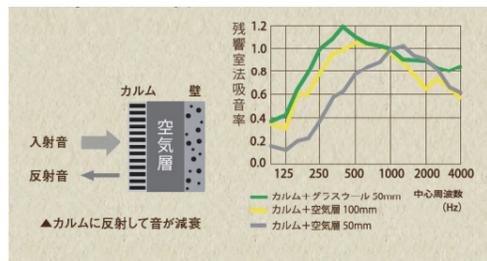
セットインクに関しては、スピーカーの左右一次反射面に1枚ずつを推奨し、壁に掛けても床に立て掛けるだけでも効果的。前方ならばスピーカーの背後に1枚ずつ、1枚だけの使用ならスピーカー間のセンターがお薦めである。

低音を主体に、これほどの確自在に効く 吸音パネルは初めての体験といつていい



KOTOBUKI 好評発売中の「バランス型」音快速(おんかいそく)

「KP-01」ルームチューニングパネル
¥60,000(1枚・税別)※カラーにチェリー色とプラム色の木目調も追加
●材質：表層材／カルム材(3mm)／高密度グラスウール(25mm)／アルミ反射材(約4mm)の4層構造(背面はMDF材)●サイズ：500W×500D×35Hmm●質量：3kg



「音快速」に採用されているカルム材は、最高の吸音率と耐久性を持ち、室内における音質を悪くする反射音をなくす。加工・設置が簡単で、環境に優しくリサイクル可能なアルミニウムとしても知られている



「音快速」のカラーにチェリー色(左)とプラム色(右)の木目調が追加

「音快速極低」と「音快速」の効果も体験できるショールーム



〒464-0801
愛知県名古屋市千種区星ヶ丘2-70
第2ロジングス天野屋1階
TEL: 052-721-9994
●定休日：日曜日
●営業時間：10:00-19:00

「音快速」は、JBLのダブルウーファー4350を愛用する庭瀬さんの低音好きは昨年末の号でレポートしたが(AA159号)「なるほどそうだったか!」と膝をたたく決定的な一瞬だったそう。新構造がひらめいたのも一瞬ながら、チューニングの方向が決まったのもこの一瞬である。

三角マークの下から上へ 流速のまま空気が移動

では比べてみよう。カルム材をベースとした高密度グラスウールにアルミ反射膜、背面はMDFという組み合わせは「極低」もそのまま継承。50cm角のサイズや厚みなど、基本仕様は同じである。両者が異なるのは、見るとおり表面に見えるカルム材部分のパターンで、3つのダイヤか

大きな開口がある「音快速」だと、この動作にはならないが「極低」は、上下に開口部のある「音快速」よりも、よりクリアな低音が得られる仕組みです。

「音快速」は、これと同じ「音快速」と同じで、スピーカーの左右一次反射面に1枚ずつを推奨している。また、これは「音快速」のコンセプトはあくまで「音快速」のユーザー向けで、さらにハイクレドな低音。真の低音再生を追求する人向けということのようにだが、まずは「音快速極低KP102」の効果を知ろう。

「音快速」とセットで使用
期待を上回る効果を体験

「音快速」も常設しているのですが、「極低」によるグラスウールの積み上げ効果なども検証してみた。期待を大きく上回る改善度とクオリティで、「音快速」シリーズの進化を感じさせた試聴体験であった。

大三角の開口が下にある。上は板で反射性だ。「下だけ吸音したらどうだろう」という閃きから生まれた新構造がこれである。穴位置やその数、細さなど試作とヒアリングを繰り返したはずだが、ドラムの経験から音のエネルギーを知っている庭瀬さんの耳と直感でこれだ!と決定された。そんなユニークな経緯の製品に親しみがわく。

「音快速」よりももう1〜2段階効きが強い感じで、手こずっていたオルガンの超低音域のもやつき、フラッターのような濁りがどこかにいなくなり、気配として澄み渡る印象だ。最弱音の弦や木管のソロパートが、ふわっと浮かび上がる。その対比としてオーケストラの強奏やジャズのビート感ものびやかに、実に気持ちよく伝わってきた。

「音快速」も常設しているのですが、「極低」によるグラスウールの積み上げ効果なども検証してみた。期待を大きく上回る改善度とクオリティで、「音快速」シリーズの進化を感じさせた試聴体験であった。

KOTOBUKI “低音特化型”の新モデル 音快速極低

(おんかいそくごくてい)
「KP-02」ルームチューニングパネル ¥64,800(1枚・税別)

※カルム材をベースとした高密度グラスウールにアルミ反射膜、背面はMDFという組み合わせは「音快速」を継承。50cm角のサイズや厚みなど、基本仕様は同じ。内部は上下が別室で細い穴のあいた状態で仕切られて、三角マークのある下側から上へと、流速がついたまま空気が移動するしくみ



さらにハイグレードな 真の低音再生を追求する

名古屋市に拠点を置く音響・防音設計の専門メーカーであるKOTOBUKIは、昨年秋に画期的な音響処理能力を備えたルームチューニングパネル「音快速(おんかいそく)」を発売。ダイヤのパターンが特徴的で、僅か35mmの薄さとコンパクトでありながら、理想のリスニング空間を実現するアイテムとして、リピーターが絶えない人気アイテムとなった。そして今年、第2弾として登場したのが「音快速極低(おんかいそくごくてい)」である。前作の「音快速」はバランス型。今回の「音快速極低」はより低域に絞り込んだ音響パネルとなっており、その効果の高さから早くも本年度の「オーディオアクセサリ銘機賞2017」で見事に受賞を果たしている。その実力はいかなるものか? 昨年「音快速」をレポートした林 正儀氏が注目の第2弾モデルをレポートする。

Text by
林 正儀
Masamori Hayashi

より低域に絞り込んだ 特化型の音響パネル

「音快速KP101」はダイヤのパターンを持つ画期的な吸音パネルだ。新幹線の防音処理に使われる新素材「カルム(アルミ粉末を焼結させた板)」をベースとした3層構造で、これまでにはない音場処理効果から幅広い評価を獲得。2016年の「オーディオアクセサリ銘機賞」に輝いた人気商品である。

その第2弾として今回登場したのが「音快速極低KP102」だ。これは後継や下位モデルではない。「音快速」とは処理の狙いが違うシリーズモデルなのだ。

キーワードは「極低(ごくてい)」というネーミングだ、これまでの「音快速」が「バランス型」だとすれば、こちらはより低域に絞り込んだ、特化型の音響パネルといつてよい。

4350ダブルウーファーで さらに深い低域を感じたい

KOTOBUKIの代表である庭瀬洋さんに、お尋ねしよう。「音快速」も低音処理のすぐれた製品だったはずだが……。「その通りです。しかしJBLの4350を愛用する私には、もつと上を目指す夢がありました。(音快速)は、低音も整理しますが、中・高音も整理するという意味で、やはりバランス指向だったわけです。そのことに気づいたのは、実は極低の試作品とガチで聴き比べたときでしたね」

うな効果だ。正面に1枚立て掛けるだけでも、ヴォーカルのセンター定位がどっしりと揺るぎないものとなる。

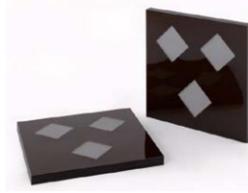
さらに今回一番の発見は、リスナーの背後。ここはパネルを縦に使うのが抜群の効果と気がついた。この場合、三角マークは内向きがよい。不思議だが上質な低音を前から引張ってくるようで、ベースやドラムなど厚みや密度感が飛躍的に向上した。吸い寄せられるようにエアークリック効果だ。

「音快速」も常設しているのですが、「極低」によるグラスウールの積み上げ効果なども検証してみた。期待を大きく上回る改善度とクオリティで、「音快速」シリーズの進化を感じさせた試聴体験であった。



音極振

「KP-05」インシュレーター
¥6,000(4個) Spec ●材質：オーディオ専用シリコン材 ●サイズ：50W×50D×10Hmm



音快速
(おんかいそく)
「KP-01」
ルームチューニング
パネル
¥60,000
(1枚・税別)



音快速極低
(おんかいそくごくいてい)
「KP-02」
ルームチューニングパネル
¥60,000
(1枚・税別)

KOTOBUKI 音快速Mini

「KP-03」ルームチューニングパネル
¥38,000(1枚・税別)

Spec ●材質：表層材/カルム材/高密度グラスウール/アルミ反射材の4層構造(背面はMDF材) ●サイズ：290W×290D×35Hmm

KOTOBUKI 音快速 high zone

「KP-04」ルームチューニングパネル
¥26,500(1枚・税別)

Spec ●効果：スピーカーの上に置くことで高域をきれいに処理し、より空間の広がりやトワイターの補助を実現 ●材質：表層材/カルム材/高密度グラスウール/アルミ反射材の4層構造(背面はMDF材) ●サイズ：140W×140D×35Hmm



■注目のルームチューニングパネル

“音快速”コンパクト 初のインシュレーターも登場

名古屋市に拠点を置く音響・防音設計の専門メーカーであるKOTOBUKIは、画期的な音響処理能力を備えたルームチューニングパネル「音快速(おんかいそく)」を発売。ダイヤのパターンが特徴的で、僅か35mmの薄さとコンパクトでありながら、理想のリスニング空間を実現するアイテムとして、リピーターが絶えない人気アイテムとなった。そして昨年はその第2弾として低音効果に特化した「音快速極低(おんかいそくごくいてい)」が登場させている。そして本年いよいよ第3弾として、「音快速」の小型バージョンを2種類登場させた。さらに同社初のインシュレーターである「音極振」も登場。アクセサリの総合メーカーとして見逃せない存在になっている。早速この最新3モデルに関して、林 正儀氏のレポートをお届けすることにしよう。



Text by 林 正儀
Masanori Hayashi
Photo by 田代法生

画期的な音響パネルに
新シリーズが加わった

画期的な音響パネル「音快速(おんかいそく)」シリーズは、500mm角のサイズを持つスタンダードモデルのKP-01と、低音に特化した「音快速極低(おんかいそくごくいてい)」KP-02の二本立てがラインアップされ、人気を博している。そして今回新たに加わったのが、コンパクトサイズの2モデルと、同社初のインシュレーター/スタビライザーである。

●「音快速Mini/KP-03」
「音快速」の良さを
手軽に楽しめる仕様

順に紹介していこう。「音快速Mini」は素材(新幹線技術応用のカルム材)や基本構造を継承しながら、390mm角へとひとまわりサイズダウン。価格も求めやすくした入門機だ。誕生の背景には、ユーザーのためにもっと手軽に「音快速」のよさを楽しんで欲しいという同社代表の庭瀬さんの思いがある。みずからJBLの4350を愛する、オーディオファンゆえ気持ちがかかるわけだ。従来のダイヤパターンから縦スリット一本に変わり、構造も若干変更。スリットから入った空気を両サイドの仕切り(穴あき)を通して処理するという仕組みだ。吸って吐き出す作用である。

●「音快速high zone/KP-04」
低域のエッジが出て
中高域は輝きを増す

「効果もサイズなりだろう」とナメてはいけない。「音快速」と同等とまではいかないが、びっくりするほどの処理能力だ。ウーファーの前に置いただけで、量感過剰的なこもりや床反射がきれいに消える。低域を処理することによって、ドラムやベースなど低域のエッジは出るし、中高音域は輝きを増した。試しに「音快速」や「極低」の上に積み上げてみると、今度は中域を処理してくれるのだ。均一な処理作用をもつメリットを発揮してヴォーカルはもっとクリアに、定位もピンと決まる。つまり、床に置けば「音快速」的な使い方もでき、スピーカーのウーファに近づけると低音が処理される。設置を上げて中音が入ればヴォーカルがよく響くという嬉しい変化である。スタンドなどを活用してもよいだろうし、壁掛けもOKだ。

●「音極振/KP-05」
音の色の付けが一切なく
素の音を最大限に出す

もうひとつが、高域のディレイ調整だ。吸って返す特性だから、置き場所を前後にずらすことで高域の位相がそろう。まさに「高音域を制するものは中々低音域を制す」。そんなトワイター強化型の新アイテムだ。実際にトワイターを付け足すのとは違い、システムの音を利用するのだから、音色の統一とつながりも超スムーズ。「音快速極低」とは逆パターンの効果が、ハッキリと試聴によって確認できた。

3つめの「音極振」は、シリコン製で硬さにこだわりオーディオ用に改良を加えた、高性能なインシュレーターだ。もともと本業である音響工事のドラム防音に使うシリコン防振材からきたもの。「音極振」がユニークなのは、コンポの下に敷いて

使いこなしの多様さが楽しめ
未知の可能性を秘めた3モデル

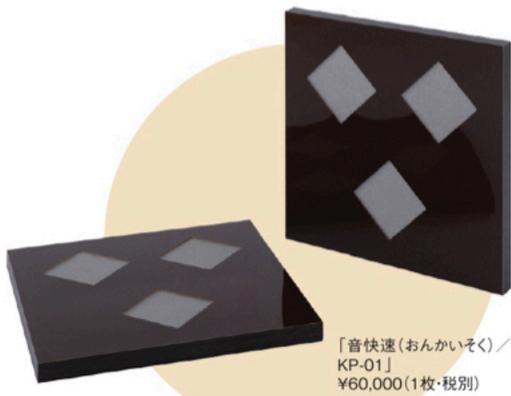
本機はさらに小さい190mm角だ。やはり縦スリットで構造も準ずる。当初は「For PC」とアナウンスされたこともあったが、確かにパソコンやテレビまわりで使うと、目覚ましい効果がある。それ以上に期待されるのが、ミニミニサイズを生かし、高音域のトワイター専用の特化したような使い方だと思っずばり、高所に設置する「ハイゾーン」モデルだ。見た目はポントワイターみた



KOTOBUKI
（ルームチューニング
パネルのラインアップ）



「音快速極低（おんかいそく）／KP-02」¥60,000（1枚・税別）



「音快速（おんかいそく）／KP-01」¥60,000（1枚・税別）



「音快速Mini／KP-03」¥38,000（1枚・税別・写真上）と「音快速high zone／KP-04」¥26,500（1枚・税別・写真下）

最後に配置のヒントだが、横向きの方がよりタイトになる方向だ。スピーカー側ではなく音がひびかれてすぎるので、フロントの左右で調整したい。スリット的位置関係もポイント。リアはスピーカーと対峙するように背後にセットすることだ。

最後に配置のヒントだが、横向きの方がよりタイトになる方向だ。スピーカー側ではなく音がひびかれてすぎるので、フロントの左右で調整したい。スリット的位置関係もポイント。リアはスピーカーと対峙するように背後にセットすることだ。

だがスリット形状が違う。下が

基本的には、やはり「音を吸って返す」特性だが、まず手前からカ

然だろう。

「極低」がよい。オーケストラの

では今回の「音快速極低」とは何

三角形の「極低」に対して、新し

炭素繊維。さらに背面側のアルミ

圧倒的な低域の切れ味
好みの音楽で使い分け

チで余韻を残す低音域だとすれ

超低域を狙い、撃ち

KOTOBUKIより第5弾の最新チューニングパネルが登場

Text by
林 正儀
Masanori Hayashi
photo by 田代法生

名古屋市に拠点を置く音響・防音設計の専門メーカーであるKOTOBUKIが新たなルームチューニングパネル「音快速極低（おんかいそくくわいてい）」の発売を開始した。初代モデルの「音快速（おんかいそく）」、低音効果に特化した「音快速極低（おんかいそくくわいてい）」小型バージョンの「音快速Mini」、「音快速high zone」に続く第5弾にあたる製品で、80Hz以下の超低域を狙い撃ちした製品。新たな素材として、最新型の航空機に使用される炭素繊維を使用するなど、注目のチューニングパネルとなっている。リピーターが絶えないという同社のパネル。その一連のシリーズに超強力な仲間が加わった。



KOTOBUKI 音快速極低

「KP-05」ルームチューニングパネル ¥60,000（1枚・税別）

●材質：カルム／炭素繊維／背面側にアルミ反射材／左右には縦の棧（仕切り）で、その外側（左右）にはグラスウール／上下のスペースは空気室●サイズ：500W×500D×35Hmm



「音快速（おんかいそく）」シリーズの新しいルームチューニングパネルができました。名古屋に拠点を置く音響・防音設計の専門メーカーKOTOBUKIの庭瀬寿洋さんから届いたのは、その名も「音快速極低（おんかいそくくわいてい）」。KP-05のナンバーを持つ注目のアイテムだ。

カルムの下に生の炭素繊維
80Hz以下の低音で低域強化

デビュー作「音快速KP-01」、翌年の「音快速極低（おんかいそくくわいてい）」KP-02。そして入門者向けや高音用のコンパクトな「KP-03」「KP-04」に続き、4年連続で「アクセサリ銘機賞」を獲得した大人気シリーズだが、その秘密は新幹線の防音処理に使われる新素材「カルム（アルミ粉末を焼結させた板）」と、ユニークなスリットパターンをもつ音響構造にある。これらは後継や下位モデルではない。初代「音快速」とは処理の狙いが違うシリーズモデルなのだ。「音快速」は広帯域に処理を行う「バランス型」、「音快速極低」はその名のとおり、さらにハイグレードな低音を追求するばかりで低音マニア向けの「特化型」と紹介してきたわけだが、